

歯科材料 06 歯科用印象材料
一般医療機器 歯科複模型用寒天印象材 JMDN70890000

ハイアガーⅢ

【形状・構造及び原理等】

形状：ゲル状

主成分：寒天、プロピレングリコール、色素

【使用目的又は効果】

寒天を主成分とする印象材で、リン酸塩系埋没材の複模型作製に用いる。

【使用方法等】

1) 溶解

- ①本材を約1cm角の大きさに切断します。
 - ②溶解は寒天溶解器又は手鍋等で加温し溶解して下さい。
 - ③溶解温度は約85℃です。
 - ④寒天溶解器をお使いの場合は、寒天溶解器の取扱い説明書に従って下さい。
 - ⑤手鍋での溶解は間接法（湯煎）が理想的です。攪拌しながら溶解して下さい。
- ※手鍋を使って直火で加熱溶解すると気泡が大量に発生しますので、その場合は蓋をした状態で約20分間気泡が消えるまで放置して下さい。

2) 冷却・保温

- ①溶解器を使用する場合は、保温温度の設定を45～50℃に設定して冷却・保温します。
- ②手鍋で溶解する場合は、45～50℃になるまで室温放冷します。

3) 流し込み

- ①石膏模型は予め石膏飽和水中に約10分間浸漬して吸水させておきます。
- ②石膏表面の水分はタオル等で吸水させてフラスコにセットしてください。
- ③45～50℃の本材を石膏模型が完全に隠れるまで注入し、室温中で放冷します。表面が完全にゲル化したら不足分を注入して下さい。（寒天2回注入法）
- ④約15分間室温下で冷却した後、フラスコの下部から1/3程度浸漬し、40分間流水で冷却します。
- ⑤冷却後フラスコから石膏模型を抜き取って、印象面の水分を完全に拭き取ってから埋没材を注入して下さい。

【使用方法に関連する使用上の注意】

- ・水分が蒸発すると変質するので、必ず密封して保存すること。
- ・反復使用（再加熱使用）により、水分が減少して劣化することがあるので、適宜水の補充や新しい本材の追加をして使用すること。
- ・印象面に残留した付着水分は複模型の面荒れの原因になるので耐火埋没材を流し込む前には、付着水分を充分に取り除いておくこと。
- ・リン酸塩系埋没材以外の複模型材の使用は避けること。
- ・寒天に付着した埋没材、レジンは水で洗浄して取り除いておくこと。

【使用上の注意】

〔使用注意〕

- ・本品は【使用目的又は効果】に記載の用途以外に使用しないこと
- ・他の製品と混用しないこと
- ・歯科医療有資格者以外は使用しないこと。

〔重要な基本的注意〕

- ・本品に対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある術者は使用しないこと。
- ・本品が、万一目に入った場合は、直ちに大量の流水で洗浄した後、眼科医の診断を受けさせること。

【保管方法及び有効期間等】

- ・本品は常温の暗所に密封して保管すること。
- ・歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

【包装】

2.5kg/箱

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売元：デンケン・ハイデンタル株式会社

** 住 所：〒601-8356

京都府京都市南区吉祥院石原京道町24番地3

** 電 話 番 号：075-672-2118

* 製 造 元：デンケン・ハイデンタル株式会社